



輝け!三造中

令和3年度

学校通信 No 12

9月21日特別号



学力・学習状況等の現状と、今後の手立て vol.1

今年度、5月27日に2年ぶりに実施された3年生対象「全国学力・学習状況調査」の結果が、先日公表されました。その結果を受けて本校の生徒の強み(☆)と課題(★)を分析・検証した結果と今後の指導についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査(3年)結果

国語、数学とも平均正答率が、全国平均を上回りました。



☆ 国語、数学とも無回答率(何も解答しない問題の割合)が、全国平均よりかなり低い!

☞ 最後まであきらめずに、粘り強く考え、問題と向き合う姿勢が見られる!

☆ 国語、数学とも「勉強は大切だ!」、「社会に出たときに役立つ!」と答える子どもの割合が全国平均よりかなり多い!

☞ 各教科への学習意欲、真摯な学習姿勢、将来への願いや思いが現れている!

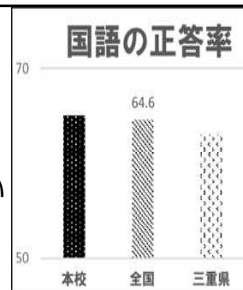
【国語】全国平均をわずかに上回りました。

☆「書くこと」に抵抗が比較的少ない!

「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」「文書の構成の工夫について自分の考えを書く」という問題等で、全国平均を上回りました。

★「話すこと」「読むこと」にやや課題!

- ・実際に話すことを想定しながら、話合いの話題や方向・質問の意図を捉え、話す内容を考えることがやや苦手なようです。
- ・文や語句や段落の役割、関係を捉えて内容を読み取り、理解することがやや苦手なようです。



強みは伸ばし、課題を改善!

- ・教材やテーマ・条件等を工夫し、「書く」活動を継続的・段階的に教科の枠を超えて設定します。
- ・書いた文章を互いに読み合い、自分の表現に役立てられるよう交流場面を増やします。
- ・文章を書いたり読んだりする際、構成や資料の活用の仕方、語句や文の使い方、段落相互の関係を丁寧に指導し、定着状況の確認機会や手段を増やします。
- ・語彙力や読解力につながる取り組みを増やします。例) 新聞ワークシートの活用、リテラス学習
- ・「国語の学習が好き」の割合が増えるように、小学校と連携して校区で取り組みを進めます。



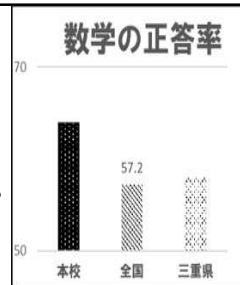
【 数 学 】 全国平均をかなり上回りました。

☆ 数学的な技能が身についています！

- ・式の計算や数量関係を式に表わしたりする問題等で高い正答率を示しています。

★ 数学的に説明する力が、相対的にやや苦手！

- ・「相対度数の必要性和意味を理解しているか」を問う問題のように、「資料の活用」領域で全国平均をやや下回っている問題がありました。
- ・用語の意味だけでなく、どうしてその考え方を使うのか説明すること等がやや苦手のようにです。



強みは伸ばし、課題を改善！

- ・数学的基礎基本の知識・技能を段階的に着実に身につけるための学習を小学校と連携して校区で取り組みます。また、「算数・数学の学習が好き」の割合が増えるよう指導方法を工夫します。
- ・自分の考えを記述するとともに、どうして、その考え方を使ったのか、用語とともに意味を確認する学習活動を進めていきます。
- ・「思考ツール」や表現する際の手立てや語彙など示した「表現モデル」などを使って、自分の考えや意見などを相手に伝わるようわかりやすく、論理的に説明するような機会や場面を教科の枠を超えて、設定していきます。

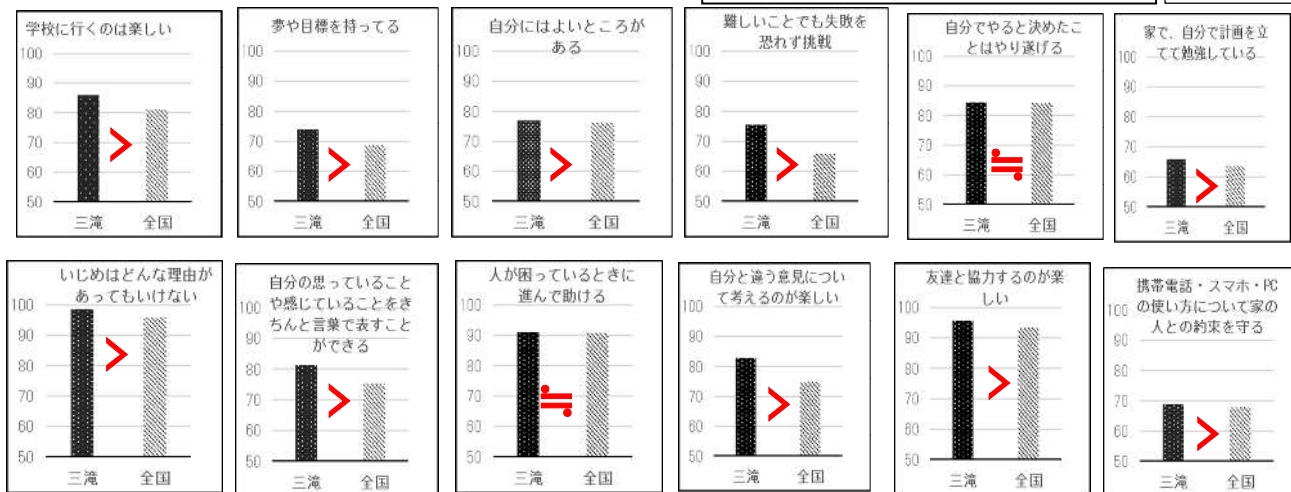
生徒質問紙からみられる3年生の特徴（生活面）

3年生はどんなことを考えているのかな？

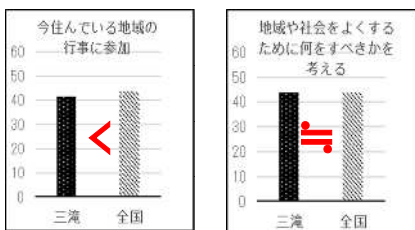
大・小・同等を表現

<自分に関すること／他者との関わりに関すること>

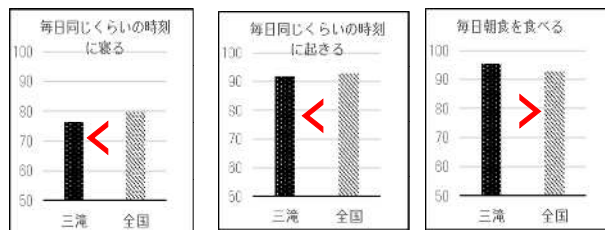
「はい」＋「どちらかといえばはい」の肯定的回答の比較



<地域・社会等に関すること>



<朝食・起床・就寝に関すること>



学校が楽しい、友達とのかかわりが楽しいと感じている生徒が比較的多いです。7割以上の生徒が夢や目標を持っています。「いじめはどんな理由があってもいけない」の肯定的回答割合が、ほぼ全員に近く、しっかりとした考えや思いを持っています。また、自分の思いや気持ちを言葉で表すことができる生徒も全国より多いです。今後も人権・同和教育を柱にキャリア教育や地域と連携した教育等進めます。